

# 教えて!

## 富山 けいざい



### 景気ウォッチャー調査って？

#### ◆現状判断タイムリーに

Q－何のことかな。

A－消費者や景気の動きを敏感に観察できる人たちを対象に、景気について調べている統計調査です。全国12地域で毎月実施され、北陸地域は北陸経済研究所（富山市）が調査を担当しています。

Q－特長はなあに。

A－公表までの速報性に優れ、毎月25日から月末まで調査した結果が、翌月の土日と祝日を除いた6日後に内閣府のホームページ上で公表されます。景気の状態が非常に速いサイクルで把握できるということです。また、調査の回答対象は百貨店やスーパーの店員、タクシーの運転手、スナックの経営者ら消費者に身近に接する業種・分野を含み、状況を伝えるコメント数も充実。「街角景気調査」と呼ばれ、消費者の目線に近い点が特長です。景気の動向を伝える日本銀行の「短観」や、ほかの政府統計と比べても、よりタイムリーに消費者の様子を知ることができます。

Q－新型コロナウイルスの影響は。

A－3月調査の数値は急激な悪化を示しました。2000年に調査が開始されてから最も悪い結果を示しており、さらに4月調査では最低値を更新しました。それまで最も悪かったのは08年のリーマン・ショック後ですが、「コロナショック」はこの時より悪くなっています。

Q－富山はどうなの。

A－北陸地域は4月調査で全国12地域の中で最も悪い数値となりました。富山では例年4月から営業する立山黒部アルペンルートが観光シーズンを迎えられなかったことや、月末に特に感染者数が増えたことが影響したと考えられます。5月調査ではやや数字が上向きになっており、6月中にはアルペンルートが営業を再開する見通しです。「新しい生活様式」を取り入れて自然に恵まれた観光地の良さを全国の人に知ってもらいたいですね。

（北陸経済研究所の辻野秀信が解説しました。随時掲載します）

